

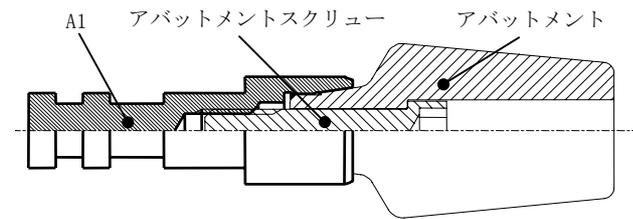
機械器具 58 整形用機械器具
一般医療機器 歯科インプラント技工用器材 (70757000)

ジーシー インプラント A a d v a 技工用器材 (アナログ)

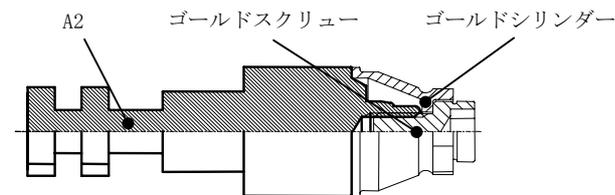
【形状・構造及び原理等】

本品は、補綴物を作製するための技工用器具であり、模型上でインプラント、SRアバットメント、レディアバットメント、ボールアバットメントの位置及び形状を再現するためのインプラント、SRアバットメント、レディアバットメント、ボールアバットメント代替品である。

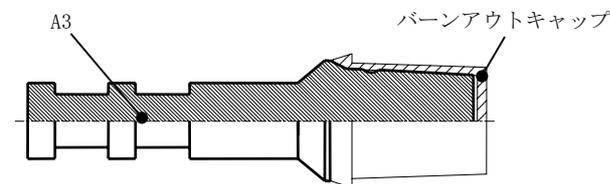
インプラントアナログ



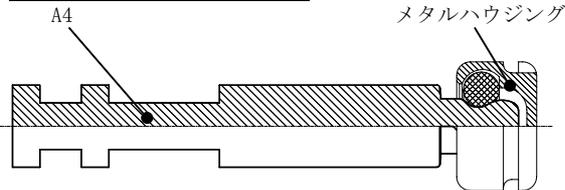
SRアバットメントアナログ



レディアバットメントアナログ



ボールアバットメントアナログ



【材質】

部位	名称	原材料と金属材料
A1	インプラントアナログ	チタン合金:
A2	SRアバットメントアナログ	チタン、アルミニウム、バナジウム、鉄
A3	レディアバットメントアナログ	ステンレス鋼
A4	ボールアバットメントアナログ	

【部品名】

インプラントアナログ Narrow
インプラントアナログ Regular
インプラントアナログ Wide

SRアバットメントアナログ φ3.8
SRアバットメントアナログ φ4.8
SRアバットメントアナログ φ6.0
レディアバットメントアナログ φ4.5
レディアバットメントアナログ φ6.5
ボールアバットメントアナログ

【原理】

インプラントのアバットメント嵌合部、またはレディアバットメントのバーニアアウトキャップ嵌合部と同じ形状、あるいはSRアバットメントのゴールドシリンダー嵌合部、ボールアバットメントのメタルハウジング嵌合部と同等の形状を有し、石こう中での回転及び移動を防止する形態を付与することにより、技工作業時にインプラント、レディアバットメント、SRアバットメント、ボールアバットメントの代替とする。

【使用目的又は効果】

本品は、顎骨に直接埋入し咬合機能を回復させるインプラントシステムのうち、補綴物を作製するために用いる歯科技工用部品である。

【使用方法等】

インプラントアナログの場合

- 1) 印象採得：
インプラントにインプラントインプレッションコーピングを締結して、印象を採得します。
- 2) 石こうの注入：
本品をインプラントインプレッションコーピングに締結した後、印象に石こうを注入して石こうの硬化を待ちます。
- 3) 作業模型の完成：
石こう硬化後、印象を撤去して作業模型が完成します。
- 4) 補綴物の作製：
インプラントガイドピンなどを用いて、作業模型上の本品にアバットメントを締結し、技工作業を行います。

SRアバットメントアナログの場合

- 1) 印象採得：
SRアバットメントにSRアバットメントインプレッションコーピングを締結して、印象を採得します。
- 2) 石こうの注入：
本品をSRアバットメントインプレッションコーピングに締結した後、印象に石こうを注入して石こうの硬化を待ちます。
- 3) 作業模型の完成：
石こう硬化後、印象を撤去して作業模型が完成します。
- 4) 補綴物の作製：
ガイドピンなどを用いて、作業模型上の本品にゴールドシリンダーを締結し、技工作業を行います。

レディアバットメントアナログの場合

- 1) 印象採得：
レディアバットメントにレディアバットメントインプレッションキャップを装着して、印象を採得します。
- 2) 石こうの注入：
本品をレディアバットメントインプレッションキャップに装着した後、印象に石こうを注入して石こうの硬化を待ちます。
- 3) 作業模型の完成：
石こう硬化後、印象を撤去して作業模型が完成します。
- 4) 補綴物の作製：
作業模型上の本品にバーニアアウトキャップを装着し、技工作業を行います。

詳細については取扱説明書等を必ずご参照ください。

ボールアバットメントアナログの場合

- 1) 印象採得：
インプラントにボールアバットメントを締結して、印象を採得します。
- 2) 石こうの注入：
採得した印象のボール部に本品を所定の位置まで挿入した後、印象に石こうを注入して石こうの硬化を待ちます。
- 3) 作業模型の完成：
石こう硬化後、印象を撤去して作業模型が完成します。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- 1) 本品をインプレッションコーピング、アバットメント（インプラントアナログの場合）、ゴールドシリンダー（SRアバットメントアナログの場合）、バーンアウトキャップ（レディアバットメントアナログの場合）、メタルハウジング（ボールアバットメントアナログの場合）等と装着する際には、間に付着物等がなく、完全に適合していることを確認した上で行うこと。
- 2) 本品を取り扱う際には、他のコンポーネントとの接触面などに傷を付けないよう注意すること。

【使用上の注意】

- 1) 重要な基本的注意
 - ①本品に対して、発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は、本品を使用しないこと。また、使用により過敏症状を起したときは、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けること。
 - ②本品の使用に際しては、使用前にジーシーインプラントセミナー等に参加し、必要な知識及び技術を確実に習得すること。また、必ずジーシーインプラントAadvaマニュアルを参照の上で使用し、注意・指示事項に従うこと。
 - ③開封後の本品に、損傷などが無いことを確認してから使用すること。損傷などが認められた場合には、使用を中止すること。
 - ④本品をろう着時の固定用に使用した場合には、表面に酸化物が蓄積するため、印象時のアナログとして使用しないこと。
 - ⑤本品を再使用する際に損傷などが認められた場合には、廃棄し、新しい製品を使用すること。
 - ⑥本品は、専用のコンポーネントに対して使用すること。
 - ⑦本品の形態変更、改造などをしないこと。
 - ⑧本品は、【使用目的又は効果】及びジーシーインプラントAadvaマニュアルに記載の用途以外には使用しないこと。
 - ⑨本品は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

【保管方法】

- 1) 本品は、高温、多湿、直射日光を避けて保管する。〔汚染及び錆を防ぐため〕
- 2) 本品は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理する。

【保守・点検に係る事項】

- 1) 消毒剤及び洗浄剤の濃度、浸漬時間、温度などの使用方法は、各メーカーの指示に従い、正しく使用する。
消毒剤は下記のものをお薦めします。
 - ・グルタラル製剤（ハイドリッド[®]20w/v%液など）、グルコン酸クロルヘキシジン（5%ヒピテン[®]液など）、防錆効果のある四級アンモニウム塩系消毒剤（塩化ベンザルコニウム、塩化ベンゼトニウムなど）下記の消毒剤は、錆・変色の影響が高いため使用できません。
 - ・過酢酸製剤（アセサイドMA 6%消毒液など）、塩素系消毒剤（次亜塩素系ナトリウムなど）、過酸化系消毒剤（オキシドール、強酸性水など）、防錆効果のない四級アンモニウム塩系消毒剤（塩化ベンザルコニウム、塩化ベンゼトニウムなど）、防錆効果のない両性界面活性剤系消毒液、アルコール系界面活性剤洗浄剤は下記のものをお薦めします。
 - ・防錆効果のある洗浄剤、酵素系洗浄剤（ハイジーンウォッシュなど）
- 2) 洗浄を行った後には、錆、変色の発生を防止するため、直ちに水気を拭き取り保管する。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：株式会社ジーシー

発売元：株式会社ジーシー

住所：〒113-0033

東京都文京区本郷3丁目2番14号

電話番号：（お客様窓口）0120-416480